

平成29年度 事業実績報告書



社会福祉法人 土佐市社会福祉協議会

平成 29 年度 事業 報告

目 次

| | |
|------------------------|----|
| 平成 29 年度事業報告「事業概要」 | 3 |
| 1.各種会議の開催状況について | 4 |
| 2.広報啓発活動について | 9 |
| 3.補助金等の収入について | 10 |
| 4.地域福祉活動の実践について | 11 |
| 5.各種相談事業について | 14 |
| 6.ボランティア活動と育成について | 18 |
| 7.災害支援の取り組みについて | 19 |
| 8.各種団体等の支援について | 20 |
| 9.福祉センター利用状況 | 29 |
| 10.当事者組織の支援と育成について | 29 |
| 11.人材育成に関する研修について | 30 |
| 12.地域福祉活動計画・発展強化計画について | 32 |
| 13.受託事業について | 35 |
| 14.介護サービスについて | 38 |

【参考】写真で見る活動集

平成29年度事業実績報告書

土佐市社会福祉協議会

土佐市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として社会福祉法第109条に規定されています。①本年度の基本方針は、「社会福祉協議会の原点に立ち返り、住民に信頼される社協を目指して」と活動基本方針に示しました。

社会福祉協議会として当たり前のことですが、私たちは、これまで十分に土佐市の住民の皆さんの「ふだんの暮らし」をより良いものにするための地域福祉活動ができていない現状から抜け出すため、本年度は自主財源である福祉基金（住民の皆さまから頂いた寄付金）を活用し第2期地域福祉活動計画・発展強化計画を策定しました。

策定するにあたり、土佐市社会福祉協議会は誰のための法人なのか地域住民のために活動しているのか。社会福祉協議会の原点に戻り今までの活動を総括しながらも、地域に出向き可能な限り様々な年代の皆さんと意見交換を行いました。

社協は地域の皆さんの信頼があってこそ存在する価値があり、そのためには社協を知ってもらい地域へ出向き、関係をつくり、聞こえたこの土佐市の課題や困り事を共に考え、つないでいき、応える支援がなければ社協自ら独自事業として生み出していく覚悟を持つ計画書として地域福祉活動計画・発展強化計画を策定しました。

この計画を基に社会福祉協議会としての役割を果たして行くところです。

また、29年度においては、介護保険法が制定される前から取り組んで来た②介護事業所をやむを得ず閉鎖いたしました。これは、あくまで民間法人としての歴代の社協経営陣の経営失敗と言わざるを得ない中、利用者の皆さまへのご負担をお掛けしたことをおわび申し上げます。また、長年介護職員として働いて頂いた介護職員には事業所閉鎖に伴い退職して頂いたことは断腸の思いでした。

③地域福祉活動は、行政から十分な補助金が期待出来ない中でしたが、こども食堂「ムックン食堂」の定期開催やフードバンク活動など、独自事業を自主財源（地域の皆さまから頂いた募金や社協会費等を活用）で行いました。地域の皆さんとの関係性が作られて地域福祉の芽が芽吹いております。

また、29年度は④市議会（教育厚生委員）議員の皆さんとの意見交換を持つ機会も設けていただきました。地域福祉の推進の理解、協力をこれからも活動を行っていきます。

地域に出向き関係性を築きながら、地域の課題を地域住民とともにこの街のふだんのくらしをより豊かににする活動はすでに民間企業との連携や土佐市に再結成された土佐市青年団等との連携協働はすでに始まっております。この地域で生まれて住んでよかったと思える地域づくりをより一層今後も土佐市社会福祉協議会は行っていきます。

1.各種会議の開催状況について

(1) 理事会

| 年 月 日 | 議 決 案 件 |
|-------------|---|
| 平成29年 4月20日 | 提出議案 1. 介護事業所閉鎖に伴う業務執行の決定について 協議事項 1. 今後の社協の運営について その他 |
| 平成29年 5月30日 | 提出議案 1. 平成28年度事業実績報告について 2. 平成28年度社会福祉事業及び公益事業会計決算報告について 協議・報告事項 1. 今後の社協運営について 2. 介護事業所の廃止について その他 |
| 平成29年 6月20日 | 提出議案 1. 役員の選任について 協議・報告事項 1. 今後の社協運営について その他 |
| 平成29年 7月25日 | 提出議案 1. 介護事業所閉鎖に伴う職員の退職金支給額について 2. 介護事業所閉鎖に伴う定款の一部改正について 3. 土佐市社会福祉センター取り壊し等に伴う定款の一部改正について 4. 評議員会の開催について 協議・報告事項 1. 今後の社協運営について その他 |
| 平成29年 9月 5日 | 提出議案 1. 社会福祉事業及び公益事業収支補正予算（案）について 2. 評議員会の開催について 報告事項 1. 今後の社協運営について 2. 社協のビジョン策定について その他 |

| | |
|-------------|---|
| 平成29年 9月28日 | <p>提出議案</p> <p>1. 土佐市長に対する要望事項について</p> <p>協議・報告事項</p> <p>1. 今後の社協運営について</p> <p>その他</p> |
| 平成29年10月 6日 | <p>提出議案</p> <p>1. 会長から提出された辞任届の対応について</p> |
| 平成29年12月19日 | <p>提出議案</p> <p>1. 土佐市社会福祉協議会 苦情に関する規程について</p> <p>協議・報告事項</p> <p>1. 今後の社協運営について</p> <p>その他</p> |
| 平成30年 3月15日 | <p>提出議案</p> <p>1. 平成30年度事業計画（案）及び社会福祉事業収支予算（案）について</p> <p>2. 経理規程の改正について</p> <p>3. 土佐市社会福祉協議会 職員就業規則</p> <p>4. 土佐市社会福祉協議会 嘱託職員就業規則</p> <p>5. 土佐市社会福祉協議会 臨時的任用職員就業規則</p> <p>6. 土佐市社会福祉協議会 パート職員就業規則</p> <p>7. 土佐市社会福祉協議会 職員の給与に関する規則</p> <p>8. 土佐市社会福祉協議会 職員の給与に関する規則 施行細則</p> <p>9. 土佐市社会福祉協議会 嘱託職員給与規程</p> <p>10. 土佐市社会福祉協議会 職員の退職手当に関する規程</p> <p>11. 土佐市社会福祉協議会 職員の懲戒処分の基準に関する規程</p> <p>12. 土佐市社会福祉協議会 職員の懲戒処分の基準に関する規程</p> <p>13. 土佐市社会福祉協議会 パワー・ハラスメントの防止に関する規程</p> <p>14. 土佐市社会福祉協議会 育児休業等に関する規程</p> <p>15. 土佐市社会福祉協議会 介護休業等に関する規程</p> <p>16. 評議員会の開催について</p> <p>その他</p> |

(2) 評議員会

| 年 月 日 | 議 決 案 件 |
|-------------|---|
| 平成29年 6月20日 | <p>提出議案</p> <p>1.平成28年度事業実績報告書</p> <p>2.平成28年度社会福祉事業及び公益事業会計決算報告書について</p> <p>3.土佐市社会福祉協議会 理事及び監事の選任について</p> <p>報告事項</p> <p>1.会長の職務執行状況の報告</p> <p>(1) 訪問介護事業の廃止について</p> <p>(2) 今後の社協運営について</p> <p>その他</p> |
| 平成29年 8月4日 | <p>提出議案</p> <p>1.土佐市社会福祉センター取り壊し等に伴う定款の一部改正について</p> <p>2.介護事業所閉鎖等に伴う定款の一部改正について</p> <p>協議・報告事項</p> <p>1. 会長の職務執行状況の報告</p> <p>(1) 介護事業所閉鎖に伴う職員の退職金支給額について</p> <p>(2) 今後の社協運営について</p> <p>その他</p> |
| 平成29年 9月4日 | <p>提出議案</p> <p>1. 社会福祉事業及び公益事業収支補正予算(案)について</p> <p>報告事項</p> <p>1. 今後の社協運営について</p> <p>(1) 土佐市社会福祉協議会 部会規程</p> <p>(2) 介護事業所閉鎖に伴う職員の退職金支給額について</p> <p>その他</p> |
| 平成30年 3月23日 | <p>提出議案</p> <p>1. 平成30年度事業計画(案)及び社会福祉事業収支予算(案)について</p> <p>2.経理規程の改正について</p> <p>3.土佐市社会福祉協議会 職員就業規則</p> <p>4.土佐市社会福祉協議会 嘱託職員就業規則</p> <p>5.土佐市社会福祉協議会 臨時的任用職員就業規則</p> <p>6.土佐市社会福祉協議会 パート職員就業規則</p> <p>7.土佐市社会福祉協議会 職員の給与に関する規則</p> |

| | |
|--|---|
| | 8.土佐市社会福祉協議会 職員の給与に関する規則 施行細則 9.土佐市社会福祉協議会 嘱託職員給与規程 10.土佐市社会福祉協議会 職員の退職手当に関する規程 11.土佐市社会福祉協議会 職員の懲戒処分の基準に関する規程 12.土佐市社会福祉協議会 職員の懲戒処分の基準に関する規程 13.土佐市社会福祉協議会 パワー・ハラスメントの防止に関する規程 14.土佐市社会福祉協議会 育児休業等に関する規程 15.土佐市社会福祉協議会 介護休業等に関する規程 16.評議員会の開催について その他 |
|--|---|

(3) 企画会

| 年 月 日 | |
|-------------|--|
| 平成29年9月12日 | 1.社協のビジョン作成にあたって 2.企画部会の今後の活動をどうすべきか！ 3.企画委員の役割分担について 4.その他 |
| 平成29年11月14日 | 1.12月補正要望に対して市からの査定内容について 2.介護事業の利用者負担の納入実績について 3.組合要求に対する対応について 4.給与規程等の改定に伴う考え方について 5.苦情解決に関する規程の制定について 6.その他 |
| 平成29年12月25日 | 1.昇給ストップに伴う組合要求に対する回答について 2.職員に対しての解雇予告通知書の発送について 3.給与の不当利得問題について 4.第2期 土佐市地域福祉活動計画・発展強化計画について 5.その他 |
| 平成30年3月5日 | 1.平成30年度予算概要について 2.事務局長公募状況について 3.就業規則及び給与規則等の改正について 4.第2期土佐市地域福祉活動計画・発展強化計画について 5.その他 |

(4) 土佐市運営検討委員会：社協の運営について、協議し、会長が必要と認める事を理事会評議員会にあげる協議の場。 設置者は社協会長

| 年 月 日 | |
|-------------------|--|
| 平成 29 年 4 月 1 3 日 | 1.社協の現状について 介護事業所の閉鎖について 2.事務局長の空席について 3.理事の皆さんの役割について 4.その他 |
| 平成 29 年 7 月 2 1 日 | 1.土佐市社協の課題や今後の取り組みについて ①介護事業所閉鎖に伴う職員の退職金について ②定款の一部改正について ③今後の取り組みについて 2.その他 |
| 平成 30 年 1 月 10 日 | 1. 土佐市地域福祉活動計画・発展強化計画について ア. 策定時期：平成 29 年 9 月～12 月・・・3 ヶ月 イ. 委託コンサルタント 村井琢哉 京都市山科区竹鼻堂ノ前町 18-1 山科醍醐こどものひろば理事長 関西学院大学人間福祉学研究科 前期課程修了 2.30 年度予算概要について ・給食サービスの見直しについて 3.人勧に伴う給与等の実施について 4.社協及び日赤高知県支部の包括的な連携並びに当該連携に対する土佐市の支援に関する協定書の締結について 5.その他 (1) 土佐市社会福祉大会の開催要領について (2) 共同募金（ムックン食堂）活動の推進について (3) 土佐市社協の課題や今後の取り組みについて ・職員の昇給ストップについて |

(5) 土佐市連絡協議会：社協会長、土佐市副市長が双方で議題が出た時に提案した方が議長となり、検討課題を協議する場として設置。

メンバー：社協会長・副会長・理事・評議員、土佐市福祉事務所長・長寿政策課長 等

| 年 月 日 | |
|-------------------|--|
| 平成 29 年 8 月 1 7 日 | 1.介護事業所廃止に伴う退職金の支給について ①退職金の補てん 出向職員及び補助金職員の普通退職金額の補てん 2.事務局長の雇用について ①予算の確保 3.市社協のビジョン策定について ア. 策定時期：平成 2 9 年 9 月～1 2 月・・・3 ヶ月程度 |

| | |
|------------|--|
| | <p>イ. 委託コンサルタント 村井琢哉：京都市山科区竹鼻堂ノ前町18-1 山科醍醐こどものひろば理事長 関西学院大学人間福祉学研究科 前期課程修了 H29.2.2・・・第56回高知市福祉大会 講師来県</p> <p>4. その他 ・ボランティアセンター【災害ボランティア】</p> |
| 平成30年1月18日 | <p>1.土佐市地域福祉活動計画・発展強化計画について ア. 策定期間：平成29年9月～12月・・・3ヶ月程度 イ. 委託コンサルタント 村井琢哉：京都市山科区竹鼻堂ノ前町18-1 山科醍醐こどものひろば理事長 関西学院大学人間福祉学研究科 前期課程修了 H29.2.2・・・第56回高知市福祉大会 講師来県</p> <p>2. 30年度予算概要について 3. 人勧に伴う給与等の実施について 4. 社協及び日赤高知県支部の包括的な連携並びに当該連携に対する土佐市の支援に関する協定書の締結について 5. その他</p> |

2. 広報啓発活動について

| 種 別 | 発行回数 | 一回あたりの発行部数 | | 備考（対象） |
|---------------------------------------|------|------------|--------|-----------------------------|
| 社協だより土佐 第58号～61号 | 年4回 | 58号 | 9,000部 | 市内全世帯及び関係機関 団体 |
| | | 59号 | 8,500部 | |
| | | 60号 | 8,500部 | |
| | | 61号 | 8,500部 | |
| 誰もが安心して暮らせる 福祉のまちづくりをめざ して（あらし） | 年1回 | 500部 | | 市民、社協関係者、関係 団体 |
| 平成28年度事業報告 | 年1回 | 50部 | | 社協関係者、関係団体 |
| 第2期地域福祉活動計 画・発展強化計画 | | 500部 | | 市民、社協関係者、関係団体 |
| 第2期地域福祉活動計 画・発展強化計画概略 | | 9,500部 | | 市内全世帯及び関係機関団体 |
| 社協ホームページ | | 23回更新 | | インターネットを利用し、社 協の情報を市民に提供 |
| 社協フェイスブック | | 13回更新 | | 〃 |
| 土佐市社会福祉協議会みくろんツイッター | | ―― | | ―― |

3. 補助金等の収入について

(1) 公費助成関係

| | 補助金額 | 受託金 |
|------------|--------------|--------------|
| 高知県 | 67,000 円 | 0 円 |
| 高知県社会福祉協議会 | 0 円 | 2,079,250 円 |
| 土佐市 | 22,683,776 円 | 30,905,204 円 |
| 合 計 | 22,750,776 円 | 32,984,454 円 |

(2) 共同募金関係

| | |
|-------------------|-------------|
| 29年度配分額 (28年度募金分) | 3,685,416 円 |
|-------------------|-------------|

内訳

地区社会福祉協議会：2,108,835 円

| | | | |
|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 宇佐地区社会福祉協議会 | 381,232 円 | 蓮池地区社会福祉協議会 | 210,983 円 |
| 新居地区社会福祉協議会 | 164,380 円 | 波介地区社会福祉協議会 | 184,285 円 |
| 高石地区社会福祉協議会 | 193,361 円 | 北原地区社会福祉協議会 | 166,870 円 |
| 高岡地区社会福祉協議会 | 547,658 円 | 戸波地区社会福祉協議会 | 260,066 円 |

団体助成：160,000 円

| | |
|----------|----------|
| 身体障害者協議会 | 50,000 円 |
| 老人クラブ連合会 | 50,000 円 |
| 保護司会 | 30,000 円 |
| 青少年育成会議 | 30,000 円 |

土佐市社会福祉協議会：1,427,116 円 (配分金 1,367,088 円事務費 60,028 円)

| | | | |
|-----------|-------------|----------------|----------|
| 給食サービス事業 | 1,283,040 円 | 土佐市福祉大会 | 0 円 |
| 福祉推進校への配分 | 0 円 | ふれあい運動会 (フェスタ) | 42,772 円 |
| 社協だより | 101,304 円 | | |

(3) 自主財源の確保

土佐市住民の皆様をはじめ各自治会協議会、民生委員協議会や各団体等の協力を得て下記の実績をあげる事が出来ました。

単位：円

| 区 分 | 27年度件数 | 27年度 | 28年度件数 | 28年度 | 29年度件数 | 29年度 |
|--------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|
| 一般会費 | 6,408 | 1,922,478 円 | 6,290 | 1,887,264 円 | 5,233 | 1,569,920 円 |
| 特別会費 (団体・個人) | | | | 21,000 円 | | 5,000 円 |
| 計 | 6,480 | 1,922,478 円 | 6,290 | 1,866,264 円 | 5,233 | 1,569,920 円 |

※ 但し、会費の残額が、28年度までは補助金から差し引かれていたが、土佐市と協議を行い、社協の自主事業としての活用することに理解を頂き、補助金カットは解除された。収支については、別紙計算書類の事業活動明細書を参照。

4.地域福祉活動の支援について

(1) 福祉活動推進校の指定

昭和52年にスタートした福祉活動推進校は、平成29年度現在、土佐市内において、現在13校の学校がそれぞれの福祉教育の指導により福祉作文の発表運動会への招待・地域の高齢者との交流（花壇づくり）等様々な福祉活動に取り組んでいます。

指定校 宇佐小・新居小・高石小・高岡第一小・高岡第二小・蓮池小・波介小
北原小・戸波小・土佐南中・高岡中・戸波中・高岡高校

また、児童の健全育成として

- ・推進校助成金を活用し市内の小中高に福祉推進教育育成のため助成。
- ・市内小中高の要請を受け、高齢者疑似体験、指導。
平成29年度は、高岡高校教諭を対象に高知ヘルプデスク・
ソーシャルライ・コナツハット高知
高山共同代表によるLGBT研修会の開催

- ・福祉推進校へ出向き、地域の活動を広報

(2) 地区社協への育成

宇佐～戸波（8地区）に対して社協として独自に助成を行っている。

各地区社協において、ふれあいのまちづくり事業の一環として小地域ネットワークづくりを推進するにあたり、民生委員・ボランティア・その他関係諸団体の協力のもとにそれぞれの地域の特色を生かした活動を行っている。

- 友愛訪問 対象者：高齢者・障害者
- ふれあい会食会 参加者：高齢者・ボランティア・小学生
- ミニデイサービス事業
- 3世代交流餅つき大会 住民・児童等

(3) 高齢者記念品

在宅でねたきり高齢者等を介護している家庭に対し、家族の介護並びに経費負担の軽減をはかることを目的に「紙オムツ」等を配布した。

配布にあたっては民生委員や地域のボランティアの協力を得て配布した。

- オムツ配布 対象者：ねたきり高齢者
ねたきり高齢者 69人
配布ボランティア 29人

(4) 地域福祉活動経費支出

事業に必要な経費として支出した。

- 広報車・公用車維持管理費
- 事務用品代等
- 社協だよりの発行費用
- 火災等罹災者への見舞金 1件 フードバンク高知 団体会員加入
- 福祉大会・ふれあい運動会・災害ボランティア研修会

(5) 福祉体験学習

- 5/23 高岡第二小学校 消防体験学習
- 5/27 波介小学校 防災キャンプ
- 8/24 新居小学校 稲刈り学習
- 8/27 高岡第一小学校 清掃活動
- 9/26 土佐南中学校 清掃活動
- 11/1 蓮池小学校 鎌田井筋の清掃
- 11/3 高石小学校 地区民運動会
- 11/12 宇佐小学校 防災キャンプ

(6) チャイルドシートレンタル事業

交通事故発生時における乳幼児の生命、身体の保護のため、チャイルドシートの普及促進を図ることを目的に着用義務化された年からレンタル事業を実施した。

更新の必要性があるチャイルドシート2台分を新規購入し、一時的に乳幼児等が帰省した時に主に活用されている。

貸出台数 9台

(7) 福祉機器の貸出し事業

介護保険適用申請中の方やケガをされた方、福祉体験学習などを対象に福祉機器の貸出しを行った。

車イス 27台 高齢者体験セット 5セット

(8) こども食堂事業 地域のこどもの居場所となり、多世代交流の場となる「子ども(ムックン食堂) 食堂が高知県下で開催されています。

土佐市社協では8月から土佐市社会福祉協議会の施設を活用して毎月第4土曜日に定期的で開催しました。

また、テーマ型共同募金を行う事により目標額240,000円の所、237,633円の募金を頂き、30年度のムックン食堂の活動資金として活用させていただきます。

平成29年度「ムックン食堂」利用者数推移

参加者人数

| | | | | | | |
|-----------|-------|-------|----|-------|-------|------|
| 8月19日人数： | 子供 | 34人 | | | | |
| | 大人 | 16人 | | 50人 | | |
| 9月30日人数： | 子供 | 40人 | | | | |
| | 大人 | 25人 | | 65人 | | |
| 10月28日人数： | 子供 | 60人 | | | | |
| | 大人 | 40人 | | 100人 | | |
| 11月25日人数： | 子供 | 36人 | | | | |
| | 大人 | 20人 | | 56人 | | |
| 12月23日人数： | 子供 | 110人 | | | | |
| | 大人 | 50人 | | 160人 | | |
| 1月27日人数： | 子供 | 50人 | | | | |
| | 大人 | 20人 | | 70人 | | |
| 2月24日人数： | 子供 | 52人 | | | | |
| | 大人 | 20人 | | 72人 | | |
| 3月31日人数： | 子供 | 80人 | | | | |
| | 大人 | 30人 | | 110人 | | |
| 4月28日人数： | 子供 | 30人 | | | | |
| | 大人 | 20人 | | 50人 | | |
| 合計 | 子ども | 492人 | 大人 | 241人 | 合計延べ | 733人 |
| | 1か月平均 | 54.6人 | | 26.7人 | 1ヶ月平均 | 81人 |

(9) 土佐市ふれあい運動会

本年は、ふれあいフェスタが開催されない事から、社協自主事業としてふれあい運動会が開催された。土佐市内福祉推進校、自治会、各種団体から多くの参加があり、2年ぶりの運動会という事で盛況に行われた。

また、同日は出張こども食堂として市民体育館駐車場にてムックン食堂を実施。運動会にちなんでペラ焼き・小メロンスープ地域のみなさんに振る舞った。

○実施日 平成29年10月28日(土) 於：土佐市民体育館

(10) 第40回土佐市社会福祉大会

例年、土佐市社会福祉センターで社会福祉大会を開催していたが本年は複合文化施設建設の為、社会福祉センターは取り壊されており開催場所から探す事になった。

土佐市内の公共施設の中で、特別養護老人ホームとさの里で開催された。

社会福祉協議会と地域福祉のあり方を地域福祉活動計画・発展強化計画で策定する中での開催となり、大会参加者は120名で社会福祉活動に貢献された福祉功労者への表彰及び感謝状の贈呈ほか、福祉活動推進校発表が行われた。

記念講演として山科醍醐こどものひろば代表 村井琢哉氏より第2期地域福祉活動計画・発展強化計画について講演が行われた。

また、高知県内で活発に活躍されている土佐町社会福祉協議会 事務局長 山首尚子氏より地域福祉について講演が行われた。

それぞれの講演では、社会福祉協議会の役割、地域福祉活動への取り組み社協としての覚悟、土佐市における地域福祉活動へのヒントなどの講演がありました。

福祉大会終了後、初めての試みとして施設駐車場にて福祉まつりを開催した。

市内NPOや福祉施設から参加していただき、それぞれの設営テントで催事を実施し盛況に終了しました。

○ 実施日 平成30年3月3日 福祉大会 於：特別養護老人ホームとさの里
イベント 於：土佐市保健センター駐車場

5.各種相談事業について

(1) 生活福祉資金の貸付事業

県社協より生活福祉資金貸付事業委託事務を受託し、貸付事務および償還事務を行った。

- ・民生委員協議会と密接な連携のもと資金利用について適切な助言指導を行った。
- ・資金の償還については、県社協の貸付対象者への指導に立ち会った。
- ・督促は借受人および連帯保証人に対して督促状・催告状を県社協からの書類をもとに適宜発送するなど、その解消に努めた。

本年度について貸付・相談状況は次のとおり

生活福祉資金相談等状況表

| 生活福祉資金名 | | | 相談総件数 | |
|---------|--------|-------------------------|--------|-----|
| ① | 生活福祉資金 | 生活福祉資金 (総合支援資金) | 電話相談件数 | 7件 |
| | | | 来所相談件数 | 2件 |
| | | | 申請件数 | 0件 |
| | | | 貸付件数 | 0件 |
| ② | 生活福祉資金 | 生活福祉資金 (福祉資金・緊急小口資金) | 電話相談件数 | 27件 |
| | | | 来所相談件数 | 19件 |
| | | | 申請件数 | 5件 |
| | | | 貸付件数 | 4件 |
| ③ | 生活福祉資金 | 生活福祉資金 (教育支援資金) | 電話相談件数 | 13件 |
| | | | 来所相談件数 | 9件 |
| | | | 申請件数 | 0件 |
| | | | 貸付件数 | 0件 |
| 生活福祉資金名 | | | 相談総件数 | |
| ④ | 生活福祉資金 | 生活福祉資金 (不動産担保型生活資金) | 電話相談件数 | 2件 |
| | | | 来所相談件数 | 2件 |
| | | | 申請件数 | 2件 |
| | | | 貸付件数 | 0件 |
| ⑤ | | 臨時特例つなぎ資金 | 電話相談件数 | 0件 |
| | | | 来所相談件数 | 0件 |
| | | | 申請件数 | 0件 |
| | | | 貸付件数 | 0件 |
| ⑥ | | その他制度等全般来所相談 | 件数 | 15件 |
| ⑦ | | その他制度等全般問い合わせ | 件数 | 11件 |
| ⑧ | | その他問い合わせ | 件数 | 20件 |

(2) フードバンク事業

| 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|-----------|------|------|------|
| フードバンク件数 | 0 | 0 | 36 |
| フードドライブ件数 | 31 | 64 | 147 |

フードバンク 36 件

フードドライブ 県下社協一斉
市社協として

平成29年 10月1日～11月30日

社会福祉協議会前にフードバンクボックス設置

保存食、米、インスタント、レトルト食品、菓子類、飲料水
が市民から提供された。 147個 米 30Kg

フードバンクとは 提供は、緊急的支援を要する個人を対象
提供にあたり個人をアセスメントする事により公的援助がいき
わたる前のつなぎの活動、相談事業の一旦を担う。

フードドライブとは 家庭等で余っている食べ物を寄付していただく活動で、生活
困窮者等に提供する活動。管理については各市町村社協による
連携団体 セカンドハーベストジャパン・フードバンク高知

(3) 法外援助・支援事業

社協には、制度福祉に関する相談ほか、様々な相談が市民から寄せられている。
一部紹介するもの

Aさん 母子家庭で、私立学校に通うが授業料の延滞による相談
学校に相談し未納分の分割支払いにより退学せずに無事卒業
が出来た。(家計相談、分割交渉に同行) 延べ回数 4回

Bさん 二世帯で生活、難病の子の通院に遠方の病院まで行く必要
があるが費用が無い。福祉資金等で対応出来ず。また一定
の収入が有る為、公的支援も受けられない状態だった。
県社協と協働で他機関との協議した所、未申請の為受けられる
はずの支援が受けられていない事が分かった。(遡及適応不可)
市社協にて独自に貸付を行い支援した。 延べ回数 5回

(4) 相談受付(記録は30年2月から) 30件

| 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|------|------|------|------|
| 相談件数 | 不明 | 不明 | 30 |

(5) ふれあい福祉相談センターの設置・運営(ふれあいのまちづくり事業)

- ① 実施日 毎週月・水・金曜日 午前10時～午後3時
- ② 相談員 7名(民生委員・児童委員、学識経験者) 弁護士法律相談
- ③ 関連事業として年3回人権擁護委員と合同相談を行った。

平成29年度 ふれあい福祉相談センター月別相談状況

別添

平成30年3月31日現在

| 大分 | 番号 | 相談事項 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 備考 |
|--------|----|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| くらし住まい | 1 | 生計問題 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 6 | |
| | 2 | 年金問題 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 3 | 職業・生業問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 4 | 住宅問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | |
| 家族 | 5 | 家族問題 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | |
| | 6 | 結婚問題 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | 7 | 離婚問題 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | |
| 健康医療 | 8 | 健康・衛生問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 9 | 医療問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 10 | 精神衛生問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 法律 | 11 | 人権・法律問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 12 | 財産問題 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 10 | |
| | 13 | 事故問題 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 福祉 | 14 | 児童福祉・母子保健問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 15 | 教育・青少年問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 教育 | 16 | 心身障害者(児)福祉問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 17 | 母子・父子福祉問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 18 | 老人福祉問題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 19 | 苦情問題 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 | |
| | 20 | その他 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 9 | |
| 計 | | | 6 | 4 | 4 | 3 | 6 | 3 | 6 | 8 | 1 | 4 | 3 | 3 | 51 | |

| 相談種別 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 備考 |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| 一般相談 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 5 | 0 | 1 | 2 | 3 | 24 | |
| 電話相談 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 13 | |
| 合同相談 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 専門相談(法律) | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 14 | |
| 計 | 6 | 4 | 4 | 3 | 6 | 3 | 6 | 8 | 1 | 4 | 3 | 3 | 51 | |

| | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|----|------|------|------|
| 件数 | 58 | 51 | 51 |

6. ボランティア活動と育成について

ボランティア活動は、ボランティア及びボランティアグループの登録、斡旋登録者への情報提供、活動分野の確保等に努めた。

また、活動においては、各グループ・個人単位による手話奉仕・給食サービス等積極的活動を展開した。

当協議会は、県社協よりボランティア保険事務委託を受けている。

委託額 5,000円 事務用品等に活用した。

| | | | |
|-------------|------------|-----|--------|
| 現在ボランティア登録は | しらゆり会 | 41人 | |
| | 高石ほのぼの会 | 17人 | |
| | 健康づくり推進協議会 | 6人 | |
| | 民生委員 | 66人 | |
| | 北原自治会 | 2人 | 合計132人 |

ひとり暮らし老人給食サービス事業

(1) 給食サービス事業 (ふれあいのまちづくり事業・共同募金配分金事業)

社会的に孤立しがちなひとり暮らし老人を常に暖かく見守り、励ますために地域ぐるみの体制を確立し、地域社会における近隣間、世代間の交流を深め、老人の幸せを高めることを目的に給食サービスを実施した。

| | |
|--------------------|-------------|
| 対象者：80歳以上のひとり暮らし老人 | 310名 |
| 実施回数 | 24回 |
| 延給食 | 7,405食 |
| 延調理ボランティア | 286名 |
| 延配食ボランティア | 1,697名 |
| 給食調理地区 | 宇佐・新居・中央・戸波 |

市からの補助金1,100,000円共同募金配分金1,500,000

(2) 子ども食堂(ムックン食堂)事業 (自主事業)

でのボランティア育成支援

約10人

(3) あったかふれあいセンター高岡(市受託事業)

約30人

7.災害支援の取り組みについて

災害ボランティアについて

(1) 2017年度災害ボランティアセンター基礎研修～「災害ボランティア」の力を最大限に活かす～

地震、台風、大雨など、近年、日本列島各地で災害が多発しています。また、今世紀前半にも確実に発生すると言われている「南海トラフ地震」は、高知県に甚大な被害をもたらすと想定されています。

災害発生後、被災地の人々の「暮らし」を守り、支えるためには、個々の被災者のニーズに合った柔軟できめ細やかな支援活動が必要であり、その支援活動の一翼を担う「災害ボランティア」の役割は極めて重要です。また、この「災害ボランティア」の力を最大限に活かすためには、被災地に「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、活動していくことが必要となります。

そこで、この研修は「災害ボランティア活動」の基礎知識や「災害ボランティアセンター」の運営の仕組みを理解し、災害時に関係者が連携して、災害ボランティアセンターの立ち上げを行うことを目的に開催した。

高知県社会福祉協議会と共催で実施 参加者 88名

開催日 平成29年9月15日 13:15～16:00

場所 USAくろしおセンター（土佐市宇佐町宇佐888-1）

発表「社会福祉協議会における災害ボランティア活動の取り組み」

土佐市社会福祉協議会、佐川町社会福祉協議会

アンケート

- ・実際の災害地の話を聞く事が出来て良かった。
- ・日赤さんの研修内容が楽しく学ぶ事が出来た。
- ・災ボラでどういった事をしているのかが聞けて良かった。

(2) 土佐市防災訓練 開催日 平成29年10月21日

赤十字ボランティア 7名 職員4名 炊出し訓練を実施した。

8.各種団体等の支援について

団体事務として土佐市共同募金会、日本赤十字社土佐市地区、赤十字奉仕団事務局、土佐市民生委員・児童委員事務局、老人クラブ連合会事務局、土佐市身体障害者協議会事務局、平成29年度より土佐市心身障害児(者)親の会事務局を置き活動を支援している。

(1) 土佐市共同募金会

土佐市内の地域のみなさんの協力のもと共同募金運動を実施。また、土佐市内各種団体への配分申請に係る事務などを行い、地域活動の支援を行った。

共同募金運動への協力

本年度目標額を5,270,000円と設定された共同募金活動に民生児童委員協議会をはじめ、各地区自治会長、各団体とともに市民各層の理解と協力をいただきながら、下記の成績をあげることができました。

| | |
|------------|------------|
| ・共同募金目標額 | 5,270,000円 |
| ・共同募金実績額 | 5,175,936円 |
| ・目標に対する実績率 | 98.2% |

以上の募金に対して高知県共同募金会から土佐市共同募金委員会へ3,685,416円の還元配分金があった。

配分金は福祉団体・各地区社会福祉協議会・土佐市社会福祉協議会へ配分された。
年度別募金及び配分状況は！！

平成 30 年 5 月 24 日

高知県共同募金会土佐市共同募金委員会の募金実績について

□ 平成 29 年度実績額

円

| 地区 | 目標額 | 戸別 | 大口 | 実績額 | 達成率 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 宇 佐 | 1,162,269 | 809,600 | 248,000 | 1,057,600 | 91.0% |
| 新 居 | 303,786 | 223,700 | 55,000 | 278,700 | 91.7% |
| 高 石 | 372,640 | 207,350 | 228,000 | 435,350 | 116.8% |
| 高 岡 | 1,843,794 | 1,109,350 | 631,000 | 1,740,350 | 94.4% |
| 蓮 池 | 396,950 | 317,700 | 152,000 | 469,700 | 118.3% |
| 波 介 | 372,944 | 259,750 | 88,000 | 347,750 | 93.2% |
| 北 原 | 357,800 | 269,450 | 60,000 | 329,450 | 92.1% |
| 戸 波 | 459,818 | 290,300 | 221,540 | 511,840 | 111.3% |
| その他 | | | | 5,196 | |
| 合計 | 5,270,000 | 3,487,200 | 1,688,736 | 5,175,936 | 98.2% |

□ 平成 30 年度配分案

・ 配分金：3,685,416 円（約 71%が土佐市に配分）

1) 地区社会福祉協議会：2,100,000 円

| | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 宇佐地区社協 | 365,896 | 蓮池地区社協 | 218,089 |
| 新居地区社協 | 170,069 | 波介地区社協 | 187,430 |
| 高石地区社協 | 209,453 | 北原地区社協 | 182,829 |
| 高岡地区社協 | 537,550 | 戸波地区社協 | 228,684 |

2) 団体助成：90,000 円

| | |
|-------------|--------|
| 身体障害者協議会 | 30,000 |
| 老人クラブ連合会 | 30,000 |
| 心身障害児(者)親の会 | 30,000 |

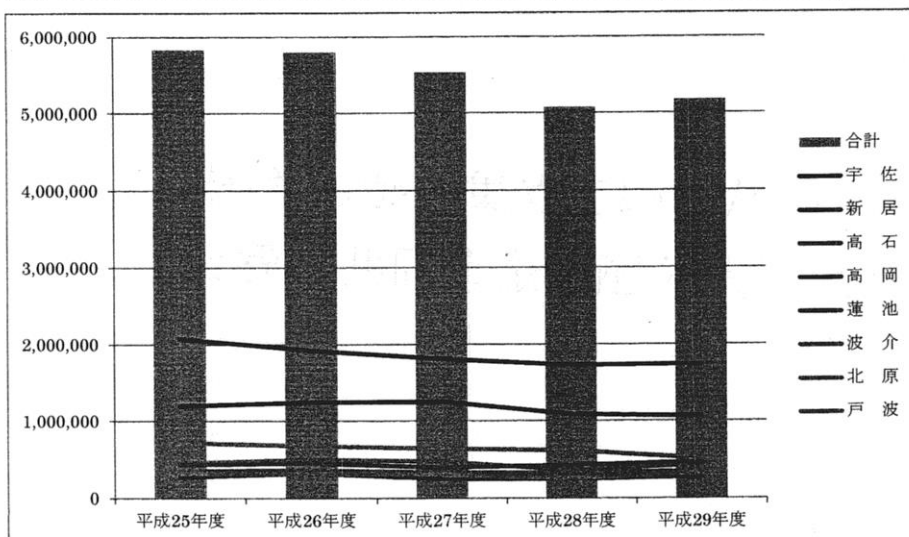
3) 土佐市社会福祉協議会：1,495,416 円

| | | | |
|-----------|---------|-------------------|---------|
| 給食サービス事業 | 550,000 | 土佐市福祉大会 | 100,000 |
| 福祉推進校への配分 | 200,000 | ふれあい運動会(ふれあいフェスタ) | 100,000 |
| 社協だより | 330,000 | 地域福祉事業(子ども食堂等) | 215,416 |

□ 近年の実績額

円(戸別 / 大口)

| | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|--------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 宇 佐 | 1,197,460 911,460 / 286,000 | 1,242,650 974,650 / 268,000 | 1,252,100 1,007,100 / 245,000 | 1,084,425 833,425 / 251,000 | 1,057,600 809,600 / 248,000 |
| 新 居 | 276,100 199,100 / 77,000 | 322,550 263,550 / 59,000 | 253,300 193,300 / 60,000 | 248,250 198,250 / 50,000 | 278,700 223,700 / 55,000 |
| 高 石 | 454,050 178,050 / 276,000 | 500,900 218,400 / 282,500 | 474,150 202,150 / 272,000 | 360,500 147,500 / 213,000 | 435,350 207,350 / 228,000 |
| 高 岡 | 2,073,574 1,267,500 / 806,074 | 1,923,200 1,165,200 / 758,000 | 1,810,000 1,157,000 / 653,000 | 1,726,160 1,085,160 / 641,000 | 1,740,350 1,109,350 / 631,000 |
| 蓮 池 | 439,100 294,100 / 145,000 | 454,250 306,250 / 148,000 | 398,150 256,150 / 142,000 | 427,950 275,950 / 152,000 | 469,700 317,700 / 152,000 |
| 波 介 | 356,250 263,250 / 93,000 | 363,900 263,900 / 100,000 | 332,550 247,550 / 85,000 | 325,000 251,000 / 74,000 | 347,750 259,750 / 88,000 |
| 北 原 | 321,900 253,900 / 68,000 | 316,350 245,350 / 71,000 | 307,400 243,400 / 64,000 | 257,850 199,850 / 58,000 | 329,450 269,450 / 60,000 |
| 戸 波 | 716,470 424,350 / 292,120 | 677,200 411,800 / 265,400 | 640,938 389,300 / 251,638 | 617,211 363,300 / 253,911 | 511,840 290,300 / 221,540 |
| その他 | 32 | 91 | 64,404 | 29,198 | 5,196 |
| 合計 | 5,834,936 | 5,801,091 | 5,532,992 | 5,076,544 | 5,175,936 |
| 土佐市への 配分金 | 4,380,393 75.0% | 4,422,467 76.2% | 3,997,848 72.3% | 3,635,923 71.6% | 3,685,416 71.2% |
| 地区社協 配分金 | 2,541,000 58.0% | 2,565,031 58.0% | 2,318,752 58.0% | 2,108,835 58.0% | 2,100,000 57.0% |



(2) 日本赤十字社土佐市地区（日本赤十字社高知県支部土佐市地区協議会）

赤十字の思想とする人道博愛の精神を基調とし、世界平和を希求し、さらに郷土愛をもって、安全快適なまち、福祉のまちの実現を期し、市勢の発展につとめることを目的として活動しています。

① 日赤土佐市地区事業について

- | | |
|-----------|--|
| 4月17日 | 目標額設定会議の開催（場所：土佐市社会福祉協議会） |
| 4月29日 | 赤十字啓発パレード・事務局・赤十字奉仕団参加 （場所：高知市帯屋町アーケード） |
| 5月1日～31日 | 日赤運動増強月間 |
| 5月22日 | 日赤高知県支部との協定打合せ会（事務局、防災課、福祉事務所 高知県支部）（場所：土佐市社会福祉協議会） |
| 6月6日 | 避難所運営訓練HUGファシリテーター養成研修 （地域住民・事務局・赤十字奉仕団・民生委員等） （場所：土佐市社会福祉協議会） |
| 7月20日 | 日赤特殊奉仕団 マリン病院へ慰問活動・事務局随行 |
| 8月10日 | 日赤高知県支部意見交換会（事務局、日赤高知県支部） （場所：日赤高知県支部） |
| 9月15日 | 災害ボランティア研修参加（事務局・奉仕団） （場所：USAくろしおセンター） |
| 9月27日 | 避難所運営訓練HUGファシリテーター養成研修 （地域住民・事務局・赤十字奉仕団・民生委員等） （場所：土佐市社会福祉協議会） |
| 10月12日 | 日赤との協定打合せ（事務局・赤十字奉仕団・高知県支部 土佐市）（場所：土佐市役所） |
| 10月21日 | 土佐市防災訓練参加（事務局・奉仕団） （場所：鳴川運動公園） |
| 11月6日 | 土佐市防災訓練反省会（事務局・奉仕団） （場所：土佐市社会福祉協議会） |
| 11月11～12日 | 防災キャンプ・防災教室（小学5年生対象） （事務局・宇佐分区赤十字奉仕団） |
| 2月6日 | 中央西広域日赤奉仕団事務局員研修会（事務局） （場所：佐川町健康福祉センターかわせみ） |
| 3月4日 | 地域住民を守る災害救護研修会（事務局・奉仕団） （場所：総合あんしんセンター） |

② 日赤会費募集事業の推進に協力

社資募集の趣旨徹底と広報

本年度県支部より割り当て目標額3,816,000円が設定され、地域福祉の増進と災害に対する見舞いにあてるため、会費募集運動が展開された。

その結果、民生児童委員協議会をはじめ、各自治会長や各団体の協力と市民の理解により、下記の実績をあげることができた。

【日赤会費募集実績額 3,020,809円 実積率 79.2%】

以上の成績により、日本赤十字高知県支部から土佐市地区に対して

448,960円の交付金があった。交付金は8地区へ配分及び災害見舞金(火災1件)・事務費等に活用された。

住宅火災救援物資の支給 1件

※ また平成29年度において、日赤高知県支部と土佐市と社会福祉協議会との三者協定の締結を目指し他市の提携状況を調査し検討したが協定を結ぶまでには至っていない。

協定を結ぶ事によって、3者間の活動を相互補完する事により、災害時等でそれぞれが果たしていく役割を強化する狙いがあるので本年も引き続き協定を働きかけて行く。また、赤十字基金を活用し活動強化を図っていく。

年度別募金及、会員状況は！！

日赤活動費実績表

| 区分 分區別 | 25年度 募金額 | 26年度 募金額 | 27年度 募金額 | 28年度 募金額 | 29年度 募金額 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 宇佐 | 786,300 | 658,676 | 787,150 | 671,950 | 634,000 |
| 新居 | 177,000 | 190,000 | 179,600 | 191,500 | 157,000 |
| 高石 | 127,000 | 163,500 | 171,900 | 177,900 | 163,000 |
| 高岡 | 954,600 | 909,700 | 919,000 | 894,450 | 859,500 |
| 蓮池 | 251,500 | 239,200 | 214,700 | 266,900 | 245,1001 |
| 波介 | 205,000 | 197,500 | 201,750 | 178,000 | 226,500 |
| 北原 | 179,000 | 194,000 | 169,500 | 225,500 | 193,000 |
| 戸波 | 340,500 | 319,470 | 312,000 | 305,500 | 328,500 |
| 法人・個人 | 262,594 | 221,060 | 22,581 | 149,750 | 214,209 |
| | | | | | |
| 達成率 | 86.0% | 81.1% | 78.0% | 80.2% | 79.2% |
| 合計 | 3,283,494 | 3,093,106 | 2,978,181 | 3,061,450 | 3,020,809 |

(3) 土佐市老人クラブ連合会（よさこいクラブ土佐）

市老連では、会員皆様のご協力により、全老連や県老連と呼応して「100万人会員増強運動」に取り組んでいる。

- 29年度の重点目標は、1. 仲間を増やし、将来の活動の基礎を固めよう。
2. クラブのイメージを払しょくしよう。3. クラブの活動を活発にしよう。
として取り組みを行った。

現在、47の単位老人クラブ、857人の会員で組織されている。

平成29年度 よさこいクラブ土佐 事業実績報告書 2018. 3.31

| 月 | 市老連 | 県老連 |
|----|---|---|
| 4 | 24) よさこいクラブ土佐カップ杯 | 5) 県老連助成委員会（福祉交流プラザ） 18) 市町村老連会長・事務局担当者会 25) 県老連若手委員会総会（福祉交流プラザ） |
| 5 | 7) 健康ウォーキング（高石・塚地地区） 17) 理事会 25) 総会&音楽コンサート（箏・三味線） 27) ハイキング（梶原） 九十九曲峠セラピーロード | 24) 県老連理事会 29) 元気ハツラツ交流会第1回実行委員会 |
| 6 | 17) ボウリング大会（若手・女性委員会） | 9) 県老連評議員会/理事会 13) 介護予防ブロック別研修会（中央西・仁淀川町） |
| 7 | 27) 物故者追悼式 29) ハイキング（天狗高原） | 14) 事務担当者会（福祉交流プラザ） |
| 8 | | 3) 四国老人クラブ大会（徳島県） 8) ブロック別新任会長研修会 24) 元気ハツラツ交流会（春野ピアステージ） |
| 9 | 7) 理事会 23) 仁淀川町一斉清掃（社会奉仕の日） 29) 「米寿・喜寿」年祝い | 15～21) 老人の日（老人週間） 20) 全国一斉「社会奉仕の日」 |
| 10 | | 18) ろうれんピック中部会場（春野総合運動公園） 18～19) 全国老人クラブ大会（京都府） 28) ふれあい運動会（社協主催） |
| 11 | 1) グラウンドゴルフ大会 2) シニアゴルフ大会 18) 県外研修（しまなみ海道） 25) 健康ウォーキング（高岡地区） | 8) 第57回高知県老人クラブ大会（福祉交流プラザ） |
| 12 | 5) 理事会 12) 表彰者を称える会・会長表彰 &市老連芸能大会 16) 健康ウォーキング（高岡地区） | |

| 月 | 市老連 | 県老連 |
|---|--|-------------------------------|
| 1 | | 25) はちきん大会 |
| 2 | 6) 「白寿」49号発行委員会 | 3) ろうれんピックボウリング大会 (高知市) |
| 3 | 17) 健康ウォーキング (波介地区) 22) 理事会 パンフレット「白寿49号」 発行 | 3) 土佐市社会福祉大会 若手会員パワーアップ研修会 |

(4) 土佐市身体障害者協議会

土佐市身体障害者協議会は、昭和46年に結成し、仲間を支えあい希望と自立を願って活動をすすめています。

国際社会においても、1970年代から障害のある人の権利に関して「精神遅滞者の権利に関する宣言」1971年昭和46年採択から1975年昭和50年の「障害者の権利」に関する宣言が採択されたが法的拘束力を持つものではありませんでした。

私たち土佐市身体障害者協議会においても高知県身体障害者協議会、日本身体障害者団体連合会と連携し、我が国および国際社会に「障害者の権利に関する条約」が採択されるべく活動を行ってきました。

そして運動の成果があらわれ、2008年平成20年に「障害者の権利に関する条約」が採択されました。

我が国においても、「障害者基本法の改正」2011年平成23年、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律」2012年平成24年、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」および「障害者の雇用の促進等に関する法律」の改正2013年(平成25年)が成立し、様々な法制度の整備は行われました。

そして、2014(平成26年)障害者権利条約の批准が行われやっと障害者の権利擁護は、一歩ずつ前進していると考えています。

土佐市身体障害者協議会は結成以来、47年を経過し、会員数は1,600名を超えており、今後一層、お互いに支えあいないながらその活動の輪を拡げています。

平成29年度 事業報告書

| | | | |
|-------|-------------------------|----------|------------------------------|
| 4. 3 | 身障青壮年部 春の野外研修 (宇佐方面) | 10. 3 | フライングディスク |
| 4. 6 | 代表常任理事会 | 10. 6～15 | 第21回高知県障害者美術展 (県立美術館) |
| 4. 9 | バス1日研修旅行 (徳島県 神山森林公園) | 10. 9 | 青壮年部秋の社会見学 (越知町) |
| 4. 17 | グラウンドゴルフ | 10. 12 | 中四国相談員研修会 (高松市) |
| 4. 24 | グラウンドゴルフ (鳴川) | 10. 15 | 高知県障害者フライングディスク大会 (高知市) |
| 4. 29 | 青壮年部 総会・交流会 | 10. 17 | 中央西広域身障連理事会 (佐川町) |
| 4. 30 | 生協支部総会 (蓮池コミュニティーセンター) | 10. 23 | グラウンドゴルフ (福祉センター 1:30) |
| 5. 8 | 土佐クラブ・身障協議会交流グラウンドゴルフ | 10. 25 | 中央西身障連運動会 (佐川町) |
| 5. 12 | 中央西身障連理事会 (いの町) | 10. 28 | 土佐市ふれあい運動会 (土佐市民体育館) |
| 5. 15 | グラウンドゴルフ (鳴川) | 10. 30 | フライングディスク大会 (鳴川) |
| 5. 22 | 身障協議会 理事会 | 11. 4 | 土佐市身障料理交流会 (高岡市民館) |
| 5. 28 | 高知県身体障害者スポーツ大会 (春野運動公園) | 11. 7 | グラウンドゴルフ |
| 6. 1 | 日高村障害者福祉大会 | 11. 8 | 健康を守る会 班会 |
| 6. 5 | グラウンドゴルフ | 11. 13 | グラウンドゴルフ |
| 6. 14 | 中央西広域身障連福祉大会 (いの町) | 11. 15 | 中、四国身障者福祉大会 (高知市県民文化ホール) |
| 6. 17 | 日高村障害者ふれあい運動会 (日高村) | 11. 20 | グラウンドゴルフ |
| 6. 19 | グラウンドゴルフ | 11. 27 | グラウンドゴルフ大会 (鳴川) |
| 7. 10 | 健康を守る会 班会 | 12. 4 | 中央西広域身障連研修会 (宇佐くろしおセンター) |
| 7. 18 | フライングディスク | 12. 10 | 障害者週間の集い (高知市) |
| 7. 24 | フライングディスク | 12. 10 | 祝賀会・忘年会 (高岡市民館) |
| 7. 31 | フライングディスク | 12. 12 | グラウンドゴルフ |
| 8. 12 | 花火大会 (宇佐しおかぜ公園) | 12. 14 | 健康を守る会 班会・レク |
| 8. 16 | フライングディスク (福祉センター 1:30) | 12. 18 | グラウンドゴルフ |
| 8. 21 | 身体障害者ボウリング大会 (ボウルかつらしま) | 平成30年 | |
| 8. 25 | 理事会 ひらく発送 (高岡市民館 1:00) | 1. 9 | フライングディスク |
| 8. 28 | フライングディスク (福祉センター 1:30) | 1. 12 | 新春カラオケ大会 (宇佐くろしおセンター) |
| 9. 4 | フライングディスク (福祉センター 1:30) | 1. 22 | 難聴者交流会 |
| 9. 8 | 運動会準備 (市民体育館 1:00) | 1. 29 | フライングディスク |
| 9. 9 | 土佐市身障者福祉大運動会 (市民体育館) | 2. 4 | 生協新春お楽しみ交流会 (蓮池コミュニティーセンター) |
| 9. 30 | 青壮年部料理交流会 (高岡市民館 9:30) | 2. 6 | フライングディスク |
| | | 2. 13 | フライングディスク |
| | | 2. 15 | 市町村障害者団体指導者研修会 (高知県人権啓発センター) |
| | | 2. 19 | フライングディスク |
| | | 2. 26 | フライングディスク |
| | | 3. 3 | 社協福祉大会 (とさの里 2階ホール) |
| | | 3. 6 | グラウンドゴルフ |
| | | 3. 12 | グラウンドゴルフ |
| | | 3. 22 | グラウンドゴルフ |
| | | 3. 26 | グラウンドゴルフ |
| | | 3. 28 | 三、四役会 |

(5) 土佐市民生委員児童委員協議会

事務局として、民生委員児童委員協議会の運営に関わっている。

平成29年度事業報告書

| 民協定例会 開催状況 | | 行事・研修会・各種大会参加状況 | | | | |
|---------------|----|-----------------|----------|----------------------------------|-------------|------|
| 月 | 日 | 出席者数 | 日 | 名称 | 内容等 | 参加人数 |
| 4月 | 25 | 14 | 4 | 児童部企画会 | | 8 |
| | | | 18 | 中央西ブロック研修会準備会(第1回) | 副会長出席 | 2 |
| | | | 18 | 中央西ブロック民児協理事会 | 副会長出席 | 2 |
| | | | 19 | 監査(市社会福祉センター) | 三役・監事出席 | 5 |
| | | | 21 | 児童部会 | | 17 |
| | | | 25 | 高知県民生委員児童委員協議会連合会総会 | 会長・副会長出席 | 3 |
| 5月 | 25 | 14 | 9 | 児童部企画会 | | 8 |
| | | | 15 | 中央西ブロック研修会準備会(第2回) | 副会長出席 | 2 |
| | | | 18 | 春季総会(市社会福祉センター) | 28年度決算報告 | 65 |
| 6月 | 23 | 14 | 15 | 中央西ブロック研修会準備会(第3回) | 副会長出席 | 2 |
| | | | 22 | 土佐市、民児協、見守り協定業者 調印式 | 会長出席 | 1 |
| | | | 30 | 中央西ブロック研修会(日高村社会福祉センター) | | 45 |
| 7月 | 25 | 13 | 1 | 社会を明るくする運動高知県総決起大会 | | 4 |
| | | | 7 | 児童部企画会 | | 8 |
| | | | 9,10 | 100周年記念全国民生委員児童委員大会(東京都) | 会長、主任(戸田)出席 | 2 |
| 8月 | 25 | 15 | 24,25 | 全国主任児童委員研修会(滋賀県) | 主任(山本)出席 | 1 |
| 9月 | 25 | 15 | 2 | 100周年記念高知県民生委員児童委員大会 | | 50 |
| | | | 5 | 児童部企画会 | | 7 |
| 10月 | 25 | 15 | 3 | 中央西ブロック研修会反省会(日高村社会福祉センター) | | 2 |
| | | | 6 | 児童部企画会 | | 7 |
| | | | 18 | 児童部会 | 拡大学習 | 34 |
| | | | 26,27,28 | 民児協研修旅行(伊豆・箱根方面) | | 35 |
| 11月 | 20 | 14 | 2 | 児童部企画会 | | 6 |
| | | | 30 | 四国ブロック100周年記念大会(香川県) | 会長、副会長、山中出席 | 4 |
| 12月 | 20 | 15 | 6 | 児童部企画会 | | 7 |
| | | | 13 | 児童部企画会 | | 8 |
| | | | 7 | 秋季総会(市社会福祉協議会) | | 73 |
| 1月 | 25 | 15 | 15 | 高知県法定民生児童委員協議会会長・副会長研修(ふくし交流プラザ) | 会長、副会長 | 3 |
| 2月 | 26 | 14 | 2 | 児童部企画会 | | 7 |
| | | | 4 | 子育て・家庭教育講演会(児童部会) | | 93 |
| | | | 19 | 児童部企画会 | | 5 |
| | | | 7 | 新任民生児童委員研修(高崎市青年センター) | | 3 |
| 3月 | 27 | 12 | 20 | 児童部会 | | 18 |

9.社会福祉センター利用状況 H29.6.30 閉鎖 6月以降は仮事務所での集計

本年度各種団体等の社会福祉センター利用状況は次のとおりである。

| 区 分 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
|--------------|------|------|------|
| 高齢者関係 | 50回 | 145回 | 5回 |
| 身障関係 | 57回 | 73回 | 36回 |
| 福祉団体（民生委員等） | 89回 | 88回 | 0回 |
| 市関係（公民館事業含む） | 98回 | 67回 | 0回 |
| 一般団体及び個人 | 97回 | 170回 | 7回 |
| 社協関係 | 142回 | 183回 | 95回 |
| 合 計 | 533回 | 726回 | 143回 |

10. 当事者組織の支援と育成について

(1) 土佐市心身障害児（者）親の会（とさしあおぞらひろば）の支援

心身障害児（者）の福祉の増進につとめ、社会の認識を促すとともに
 会員相互の理解と親睦を深め、当該児（者）の保護、育成に寄与することを
 目的とした当事者団体である。かつて事務局として関わっていたが、補助金
 が打ち切られてからは関わりを持っていなかったが本年度より、事務局として
 運営の支援、調整を行った。

2017年度活動状況

| 月 | 内 容 | 月 | 内 容 |
|------|-----------------|------|--------|
| 4/9 | お花見バス遠足 手結・山田方面 | 12/2 | クリスマス会 |
| 6/4 | 2017年度親の会総会 | 2/25 | カラオケ |
| 7/9 | バーベキュー波川緑地公園 | | |
| 11/5 | バス遠足 野市動物公園 | | |

自主参加 ふれあい運動会 土佐市身体障害者大運動会 作業所土佐まつり

1 1. 人材育成に関する研修について

(1) 実習生等の受け入れについて

地域福祉活動

| | | | |
|---------|------------|-------------|-----|
| 8/19 | ムックン食堂 | 高知南高校 | 2名 |
| 9/30 | ムックン食堂 | 高知南高校 | 1名 |
| 9/30 | ムックン食堂 | 高岡中学校 | 1名 |
| 10/28 | ムックン食堂 | 高岡中学校 | 1名 |
| 9/30 | ムックン食堂 | リハビリテーション学院 | 5名 |
| 10/28 | ムックン食堂 | リハビリテーション学院 | 10名 |
| 12/23 | ムックン食堂 | リハビリテーション学院 | 5名 |
| 29.9/21 | 社会福祉実習 | 高知県立大学 | 3名 |
| 29.9/28 | 社会福祉実習 | 高知県立大学 | 3名 |
| 29.9/23 | 地域福祉活動計画 | 高知南高校 | 1名 |
| 30.2/10 | 地域活性化フォーラム | 高知南高校 | 1名 |

(2) 研修視察

(県外)

| 日 程 | 研修・視察名 |
|----------|----------------------------|
| 29.7.19 | 全社協日常生活自立支援事業研修大会 全社協灘尾ホール |
| 29.11.26 | 土佐市民生委員児童委員県外視察研修 |
| 29.11.26 | あすのば全国フォーラム in 香川 |
| 30.2.17 | 洲本市社会福祉協議会地域福祉フォーラム 2018 |

(県内)

| 日 程 | 研修・視察名 |
|---------|-----------------------------|
| 29.5.17 | あったかふれあいセンターとかの 認知症予防視察 |
| 29.5.19 | 高知市旭小学校 お話モーニング |
| 29.5.25 | 高知県社協ボランティアコーディネーター研修 |
| 29.5.30 | 社協職員新人研修 |
| 29.6.8 | 高知県社協あったかふれあいセンターコーディネーター研修 |
| 29.6.13 | 算定基礎届事務講習 |
| 29.6.20 | あったかふれあいセンタースタッフ研修 |
| 29.6.25 | こどもの居場所づくり講座 |
| 29.6.26 | 高知職安 高知中央地域生活保護受給者等困窮者会 |
| 29.6.28 | 田野町災害ボランティア研修会講師打合せ会 |
| 29.7.2 | 香美市こども食堂視察 |
| 29.7.11 | 高知県地域コーディネーター養成研修 |

| 日 程 | 研修・視察名 |
|----------|------------------------------------|
| 29.7.11 | 伊野町社協ペラ焼き作り講習会 |
| 29.7.12 | 高知県地域コーディネーター研修会（スキルアップ研修） |
| 29.7.14 | 社協びとの会「生きづらさを抱える人を助けたい！」 |
| 29.7.26 | 高知県社協会計研修会 |
| 29.8.24 | 高知市下知地区防災計画・第2回揺れ対策部会 |
| 29.8.30 | 高知県生活支援コーディネーター養成研修 |
| 29.9.3 | 佐川町あったかふれあいセンターとかの「夏のお助け大作戦」 |
| 29.9.7 | 高知県ひきこもり支援に関する研修会 |
| 29.9.8 | 高知県社協中堅職員研修会 |
| 29.9.14 | 高知県あったかふれあいセンター利用者データ研修会 |
| 29.9.20 | あったかふれあいセンターテーマ別研修会 |
| 29.9.20 | 高知市下知減災会議「ペット同行避難について」 |
| 29.9.27 | 社協びとの会「命の繋がりの中でもう一度教育について考えよう」 |
| 29.10.1 | 土佐町NPOあこ「みんなの学校」上映会&トークショーin 土佐町！！ |
| 29.10.17 | あったかふれあいセンターテーマ別研修会 |
| 29.10.18 | 高知県地域コーディネーター研修会 |
| 29.10.24 | 高知市下知地区防災計画・津波・浸水部会 |
| 29.10.27 | 社協びとの会「社協が目指す地域社会のカタチとは」 |
| 29.10.31 | 高知県地域福祉活動計画実践支援研修会 |
| 29.11.5 | 心身障害児（者）親の会交流会 |
| 29.11.23 | 作業所とさ祭り |
| 29.11.30 | 種まく大人たち実行委員会 |
| 29.11.24 | 社協びとの会「ボクらの時代！」 |
| 29.12.5 | 福祉推進校研修LGBT学習会 |
| 29.12.2 | 高知市防災士養成研修 |
| 29.12.3 | 高知市防災士養成研修 |
| 29.12.10 | 土佐市認知症重度化予防塾講座 |
| 29.12.16 | ひかりの村敬老会 |
| 29.12.16 | 高知市困っている子供達について考えようシンポジウム |
| 29.12.17 | 黒潮町災害図上訓練（DIG）研修会 |
| 29.12.17 | 井関地区もちつき大会 |
| 30.1.6 | 高知市NPO高知市民会議避難所運営訓練（HUG） |

| 日 程 | 研修・視察名 |
|---------|--------------------------------|
| 30.1.16 | 県社協あったかふれあいセンター職員フォローアップ研修 |
| 30.1.20 | 学習支援見学、親子たこあげ大会 |
| 30.1.23 | 高知県地域コーディネーター研修 |
| 30.1.26 | 種まく大人たち実行委員会 |
| 30.2.4 | 日赤高知県支部 地域で支える減災ケア研修 |
| 30.2.6 | 日赤高知県支部 中央西地区奉仕団研修 |
| 30.2.8 | 高知県子ども食堂説明会 |
| 30.2.12 | 市民体育館もちつき |
| 30.2.21 | 高知県社協福祉の仕事はじめの一步認知症研修 |
| 30.2.22 | 高知県社協縁 joy・輪ッショイ～集い元気な地域づくり～研修 |
| 30.2.25 | 高知市誰も排除されない災害への対応 |
| 30.3.5 | 高知県社協人の尊厳を考えるベーシック研修 |
| 30.3.8 | 高知県社協地域を元気に！を共に考える研修会 |
| 30.3.9 | 種まく大人たち実行委員会 |
| 30.3.23 | 高知県あったかふれあいセンター連絡会 |
| 30.3.27 | 土佐市青年団発足イベント |

(3) 職員資格取得状況

| | | | | | |
|---------|----|---------|----|--------|----|
| 社会福祉士 | 0名 | 精神保健福祉士 | 0名 | 社会福祉主事 | 1名 |
| 介護支援専門員 | 0名 | 介護福祉士 | 1名 | | |
| 防災士 | 1名 | アマチュア無線 | 4名 | | |

1 2.地域福祉活動計画・発展強化計画について

(1) 基本方針

今回の計画策定においては、社会福祉協議会のこれまでの活動評価を基に、あらためて、地域の現状から、社協の運営方針と事業、そしてその基盤整備についてどのように取り組んでいくのかまとめていきました。

土佐市の市民誰もが、特別ではなく「ふだんの暮らし」が当たり前前に保障され、誰もの暮らしがしあわせにできるまちであるよう、これまで社協として不足してきた役割を見直し、あらためて取り組んでいきたいと考えております。

(2) 地域福祉活動計画

地域福祉活動計画とは、「福祉ニーズが現れる地域社会において、福祉課題の解決をめざして、住民や民間団体の行う諸々の解決活動と必要な資源の造成・配分活動などを組織だっで行うことを目的として体系的かつ年度ごとにとりまとめたとりきめ」

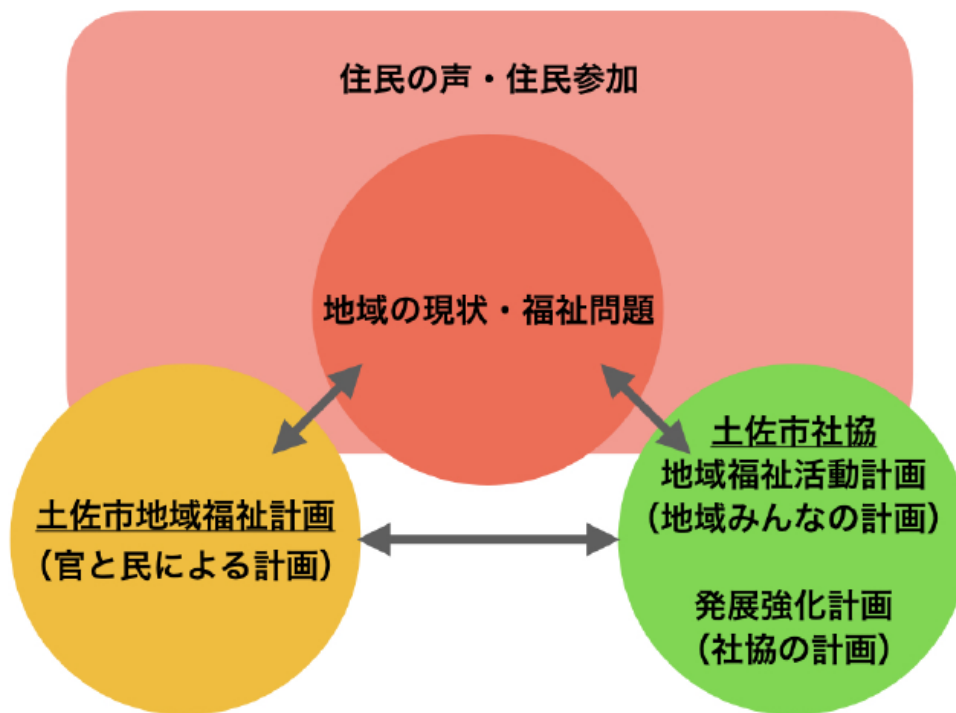
(全国社会福祉協議会「地域福祉活動計画策定の手引き」より)

地域福祉活動計画は、自治体の地域福祉計画で定めた目標を実現するために、地域住民が主体となって取り組んでいく地域福祉活動の具体的な内容を公民協働で策定する計画である。地域福祉活動計画は「社協の計画」ではないとも言われている。

今回の計画策定では、これまでの各所との協議やヒアリングを受け、行政計画策定前より前に「地域の声に応え、活動を行える体制づくりが先に」求められたため、一般的な策定とは違う流れになっている。策定後の流れについては後述もしますが、①地域の声、行政が捉える問題意識に応えるための関係作り重視の計画策定、②住民アンケートなどの集計結果を踏まえた土佐市の地域福祉計画策定、③地域福祉計画の内容と各年度に寄せられる住民の声を踏まえ毎年活動計画の評価／見直しといったサイクルを5年間行っていく。

(3) 土佐市の地域福祉計画との位置付け

土佐市では、これまで土佐市の行政計画である地域福祉計画と土佐市地域福祉活動計画を一体型で策定していました。策定は、国勢調査の統計データや住民アンケートをもとに行われていました。このたびの改訂では、これまでの地域福祉活動計画についての浸透含め住民参加や社協としての取り組みを先に評価することが必要という考えから、まずこれまでの地域福祉活動の振り返り、社協の評価、住民の声を中心に意見交換したもので第2次土佐市地域福祉活動計画を行政計画から切り離し策定し、あわせて活動を支えることができる社協となれるよう発展強化計画の要素を盛り込んだ計画としました。ここからさらに、土佐市の地域福祉計画を行政とともに策定し、より実行性を高めていく。今回の活動計画及び発展強化計画は5カ年計画ですが、単年度で評価をし、よりそのときの状況に即した計画に発展的改訂を行っていきます。



(4) 計画の策定プロセス

| | |
|-----------------|------------------------------|
| 平成 29 年 8 月 8 日 | 意見交換準備会（役員、職員、社会福祉事業者、土佐市など） |
| 9 月 12 日 | 土佐市社協理事企画会 |
| 9 月 13 日 | 土佐町社会福祉協議会視察 |
| 9 月 21 日-24 日 | 全 8 地区の意見交換 |
| 9 月 21 日-24 日 | 役職員意見交換（役員 1 回） |
| 10 月 14 日-15 日 | 意見交換（県社協・役職員、市役所・県社協） |
| 10 月 27 日 | 土佐清水市社会福祉協議会視察 |
| 11 月 6 日 | 四万十市社会福祉協議会視察 |
| 11 月 9 日 | 高岡高等学校定時制の授業での高校生とのアイデア出し |
| 11 月 10 日 | 役職員意見交換 |
| 11 月 11 日 | 土佐市内子育て家庭との意見交換 |
| 11 月 13 日 | 事務局内での計画協議 |
| 11 月 22 日 | 高知県社会福祉協議会との検討 |
| 12 月 1 日 | 高知県社協と発展強化計画学習会・意見交換会 |
| 12 月 5 日 | 佐川町社会福祉協議会視察 |

1.3.受託事業について

(1) あったかふれあいセンター事業 (土佐市から受託)

土佐市社会福祉協議会では、平成27年度より土佐市よりあったかふれあいセンター事業を受託し、主に高岡地区を中心に活動しています。活動内容としては、誰もが自由に日中過ごすことができる場を提供するとともに福祉サービスが届きにくく孤立しがちな方に対しては、相談や訪問により、地域で安心・安全に暮らす事ができるように支援しています。

また、平成29年度においては、あったかサテライトとして蓮池地区で定期的を開催し、30年度においてはさらにサテライトを増やしていきます。

(2) 地域支え合い事業 (土佐市から受託)

土佐市社会福祉協議会では、平成28年度より地域支え合い事業を受託し活動を行っています。これは土佐市社会福祉協議会が従来より関わっている地域住民との活動を中心としており、第2層協議体(地域ネットワーク会議)として位置づけ
①地域のニーズ把握②情報交換、情報共有の場③各種団体等の多様な主体への協力依頼④生活支援の担い手の養成及びサービス提供体制の構築を主にめざし地域の課題発見活動を行っている。

第2層協議体にて地域の課題を拾い上げて、地域住民とともに協議しています。

(3) 日常生活自立支援事業 (県社協から受託事業)

土佐市社会福祉協議会では、平成24年度より、高知県社会福祉協議会より当該事業を受託して、高齢や障害により、預金の出し入れや生活に必要な利用料などの支払い手続きなどの日常生活のお手伝いをしています。

自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助を行っています。

平成29年度統計

| 区 分 | 本年度 |
|----------|-----|
| 問合せ・相談件数 | |
| 認知症高齢者等 | 291 |
| 知的障害者等 | 263 |
| 精神障害者等 | 294 |
| 不明 | 58 |
| 本事業以外の相談 | |
| 新規契約締結件数 | |
| 認知症高齢者等 | 0 |
| 知的障害者等 | 0 |
| 精神障害者等 | 0 |
| その他 | 0 |

| | |
|--------|----|
| 専門員数 | 1名 |
| 生活支援員数 | 5名 |

| | |
|---------|----|
| 終了件数 | |
| 現在の契約件数 | |
| 認知症高齢者等 | 11 |
| 知的障害者等 | 3 |
| 精神障害者等 | 5 |
| その他 | 2 |

地域支え合い協議体開催状況

地域支え合い事業として社協が受託している範囲は（蓮池、高岡、高石地区）いわゆる第二層協議体。資源の把握・紹介・担い手の養成、元気高齢者の活躍の場の確保、ネットワークの構築、サービス提供主体間の連携体制づくり等を行う。平成29年度より協議体が動いている。

| 構成団体 |
|----------------|
| 自治会 |
| 民生委員児童委員 |
| 社協地域担当 |
| 民生委員児童委員 |
| 民生委員児童委員 |
| 元自治会長 |
| 自主防災 |
| 民生委員・児童委員 |
| 山の手地区住民 |
| あったかふれあいセンター高岡 |

平成29年度は合計7回協議体を開催。地域のニーズ等について協議された。

年度別利用者数(H28~H29)

| | | | | |
|----|------|------|--|--|
| 年度 | 28 | 29 | | |
| 合計 | 3866 | 4376 | | |

平成29年度 あったかふれあいセンター高岡

| 月 | 高齢者 | | | | | | | | | 障害者 | | | | 子ども | | その他 | |
|----|------|------|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|---|---|---|-----|----|-----|-----|
| | 集 | 送 | 訪 | 生 | 相談 | 交 | 働 | 学ぶ | 配食 | 集 | 送 | 訪 | 交 | 集 | 交 | 集 | 交 |
| 4 | 307 | 118 | 57 | 43 | 1 | 62 | 0 | 21 | 21 | 5 | 0 | 2 | 0 | 8 | 4 | 76 | 35 |
| 5 | 338 | 121 | 54 | 10 | 0 | 121 | 0 | 22 | 0 | 11 | 1 | 0 | 1 | 11 | 0 | 79 | 107 |
| 6 | 343 | 114 | 56 | 38 | 0 | 5 | 0 | 23 | 0 | 17 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 24 | 0 |
| 7 | 264 | 86 | 65 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 20 | 0 |
| 8 | 328 | 104 | 66 | 5 | 0 | 28 | 0 | 39 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 28 | 11 | 10 | 1 |
| 9 | 328 | 102 | 53 | 15 | 1 | 14 | 0 | 16 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21 | 0 |
| 10 | 380 | 111 | 62 | 46 | 1 | 7 | 6 | 14 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 | 0 |
| 11 | 362 | 94 | 60 | 31 | 1 | 0 | 13 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 9 | 0 |
| 12 | 333 | 105 | 63 | 24 | 0 | 13 | 27 | 4 | 0 | 5 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 20 | 0 |
| 1 | 305 | 90 | 66 | 33 | 2 | 17 | 2 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 14 | 0 |
| 2 | 304 | 73 | 71 | 23 | 1 | 0 | 0 | 13 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 0 |
| 3 | 338 | 80 | 72 | 19 | 0 | 13 | 0 | 6 | 8 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 17 | 16 | 3 |
| 合計 | 3930 | 1198 | 745 | 287 | 8 | 280 | 48 | 190 | 29 | 66 | 3 | 3 | 1 | 64 | 32 | 316 | 146 |

説明別添資料参照



1 4.介護サービスについて

居宅介護等事業

平成29年6月をもって居宅介護事業は廃止しました。

なぜ廃止せざるを得なくなったのか！！別紙資料のとおり、数年来赤字状態が続き好転の見込みもなく、早期介護事業の閉鎖が必要となった。

③ 平成20年度～平成29年度までの介護事業収支状況

④ 担当ケアマネージャー毎の利用数状況及び収支状況について（H21～28年度まで）

別添資料参照

(1) ホームヘルパー人員

| 介護支援 専門員 | 正職・嘱託 臨時ヘルパー | 登録 ヘルパー | 看護師 | 計 |
|-------------|-----------------|------------|-----|-----|
| 0名 | 2名 | 9名 | 0名 | 11名 |

(2) 介護保険等関連事業の実施状況は次のとおりである。

| 事業名 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | 26年度 | 29年度 | 28年度 | 27年度 | 26年度 |
|----------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 延人数 | 延人数 | 延人数 | 延人数 | 延回数 | 延回数 | 延回数 | 延回数 |
| 居宅介護支援事業 | 0 | 72 | 286 | 296 | — | — | — | — |
| 訪問介護事業 | 99 | 386 | 414 | 529 | 966 | 3,936 | 4,734 | 5,438 |
| 訪問入浴事業 | 0 | 39 | 12 | 39 | 0 | 0 | 61 | 193 |
| 障害者支援費事業 | 60 | 204 | 229 | 234 | 528 | 2,241 | 2,327 | 2,346 |
| 合計 | 159 | 629 | 941 | 1,098 | 1,494 | 6,177 | 7,122 | 7,977 |

平成20年度～平成29年度 介護事業 収支状況 2018.4.1作成

| 年度 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 合計(20～29) |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 居宅 | 6,921,150 | 6,754,104 | 5,798,156 | 6,177,804 | 4,986,352 | 3,421,232 | 3,590,728 | 3,164,902 | 845,330 | 0 | 41,659,758 |
| 訪問介護 | 21,809,798 | 23,533,125 | 22,584,718 | 20,178,720 | 19,124,615 | 18,471,391 | 16,464,173 | 17,819,147 | 11,531,358 | 3,093,795 | 174,610,840 |
| 訪問入浴 | 5,710,023 | 8,083,099 | 8,257,397 | 8,711,210 | 6,103,801 | 5,445,262 | 2,452,683 | 389,432 | 0 | 0 | 45,152,907 |
| 自立支援 | 8,975,298 | 12,759,365 | 12,783,370 | 11,489,518 | 12,936,391 | 10,489,836 | 8,772,395 | 8,667,070 | 7,114,220 | 1,851,244 | 95,838,707 |
| その他 | 15,000 | 447,706 | 1,071,391 | 1,484,327 | 99,375 | 63,451 | 103,000 | 3,000 | 0 | 0 | 3,287,250 |
| 基金等取崩収入 | 43,431,269 | 51,577,399 | 50,495,032 | 48,041,579 | 43,250,534 | 37,891,172 | 31,382,979 | 30,043,551 | 19,490,908 | 17,084,331 | 372,688,754 |
| 計 | | | | | | | | | | | |
| 職員給与 | 24,457,253 | 23,568,453 | 24,299,943 | 26,108,936 | 25,469,883 | 25,484,148 | 25,932,265 | 22,134,701 | 15,024,461 | 2,721,509 | 215,201,552 |
| 非常勤給与 | 14,612,224 | 15,223,954 | 17,100,377 | 14,524,142 | 12,682,211 | 13,611,977 | 9,966,288 | 8,262,526 | 6,583,384 | 2,850,379 | 115,417,462 |
| 給与計 | 39,069,477 | 38,792,407 | 41,400,320 | 40,633,078 | 38,152,094 | 39,096,125 | 35,898,553 | 30,397,227 | 21,607,845 | 5,571,888 | 330,619,014 |
| 事業費等 | 3,450,670 | 3,412,068 | 3,378,829 | 3,559,082 | 2,094,771 | 2,855,730 | 2,272,037 | 2,578,063 | 2,212,175 | 777,156 | 26,590,581 |
| 車・器具備品 | 0 | 0 | 1,107,276 | 661,000 | 0 | 916,455 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,684,731 |
| 退職積立金 | 3,548,085 | 2,656,250 | 2,010,253 | 3,467,300 | 1,284,500 | 1,305,000 | 1,329,700 | 825,500 | 929,532 | 0 | 17,356,120 |
| 退職金 | 46,068,232 | 44,860,725 | 47,896,678 | 48,320,460 | 41,531,365 | 44,173,310 | 39,500,290 | 33,800,790 | 24,749,552 | 18,487,472 | 389,388,874 |
| 合計 | | | | | | | | | | | |
| 収支差額 | -2,636,963 | 6,716,674 | 2,598,354 | -278,881 | 1,719,169 | -6,282,138 | -8,117,311 | -3,757,239 | -5,258,644 | -1,403,141 | -16,700,120 |

※27年度は、法人区分間繰入金収入分7,800,000円を含まず。
 ※28年度収支差額は、その他の活動による収支差額を調整した額は、△5,258,644円一サービスタ活動外収支額1,107,622円＝△4,151,022円

平成21年度～28年度まで 担当ケアマネージャー毎 利用者状況 土佐市社会福祉協議会H29.5.16現在 備考

| 項目 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 備考 |
|----------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|------|
| 担当 A | 143 | 271 | 289 | 213 | 183 | 211 | 210 | 72 | (件数) |
| 1ヶ月当り平均 | 23.8 | 22.6 | 24.1 | 17.8 | 15.3 | 17.6 | 17.5 | 12.0 | |
| 担当 B | 128 | 220 | 220 | 177 | 102 | 82 | 51 | 0 | |
| 1ヶ月当り平均 | 21.3 | 18.3 | 18.3 | 14.8 | 8.5 | 6.8 | 4.3 | 0.0 | |
| 合計 | 271 | 491 | 509 | 390 | 285 | 293 | 261 | 72 | |
| | 22.6 | 20.5 | 21.2 | 16.3 | 11.9 | 12.2 | 10.9 | 12.0 | |
| 収入総額 | | 5,798,156 | 6,177,804 | 4,986,352 | 3,421,232 | 3,590,728 | 3,164,902 | 845,330 | |
| 1件当り平均単価 | | 11,809 | 12,137 | 12,786 | 12,004 | 12,255 | 12,126 | 11,741 | |

平成22年度～平成28年度まで 居宅介護支援事業収支状況(人件費のみを計算した場合)

| | | | | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------------------------|
| 担当A・人件費年額 | 6,072,000 | 6,137,000 | 6,377,000 | 6,327,000 | 6,572,730 | 6,563,000 | 3,335,000 |
| 担当B・人件費年額 | 6,758,000 | 7,083,000 | 7,049,000 | 6,923,000 | 6,905,000 | 5,168,000 | 0 |
| 人件費 | 12,830,000 | 13,220,000 | 13,426,000 | 13,250,000 | 13,477,730 | 11,731,000 | 3,335,000 |
| 赤字額 | -7,031,844 | -7,042,196 | -8,439,648 | -9,828,768 | -9,887,002 | -8,566,098 | -2,489,670 |
| | | | | | | | (22～28合計) -53,285,226 |

注:事務費、事業費等は、勘案をせずに算定したもので、収入に対して職員2名分の給与と単純比較したものである。

平成29年度 写真で見る活動集

子ども食堂「ムックン食堂」の様子



災害ボランティアセンター研修の様子



福祉推進校学習の様子



ふれあい運動会の様子





○よりよい暮らしのために、福祉が必要なんだなあと思います。
○社会福祉とは、幸せや幸せへの道筋について考え、そのために必要なことを実現できるようにしていくことだと知りました。今私は幸せが分からないけど、そうなる努力はしたいです。



○だんの、くらしの、あわせ、そう考えると固いイメージの福祉という概念がやさしい感じがしてステキな感じがしました。自分自身を変えただけじゃなく、社会の条件そのものを変えていくのが社会福祉のお仕事だということには、強く賛同したいです。人のがんばりには限界があるという前提に立たないと、根本的解決にはならないのだと思います。

○自分もボランティアなどに参加したいと思った。自分たちの知らないところで自分たちが暮らしやすくなるために活動してくれているんだと思いました。
○自分だけが幸せになるのではなく、自分と周囲の人たちみんなで幸せになることが社会福祉に必要なと感じた。
○以外と福祉が普段の社会生活に身近なものなんだなと思った。

星 空

2017.11.10
第1280号
(H29 第19号)



だんの
くらしの
しあわせ

「地域の福祉」を考えた！
9日の2・3限は、山科講義「だんのくらしの福祉」で、理事専員 村井琢哉先生を迎え、特別講座「地域の福祉を考える」を開催しました。今回の特別講座は、土佐市社会福祉協議会の西村さんに準備して頂きました。土佐市では現在「地域福祉活動計画」の策定中で、その中にみなさんの意見も反映させたいという考えからの企画でした。
講師の村井先生は、京都で「地域の子どもたち」とともに、より良い豊かな育ちの環境づくりに取り組んでいる方です。土佐市の活動計画づくりの継続的に関わっておられ、その取り組みの一つとして今回の特別講座が実現しました。
講演の冒頭、村井先生は福祉の意味を次のように分かりやすく説明されました。



講師の村井先生

「普通の暮らしの幸せ」のためには、
①お金を仕事・手当の安定
②健康や教育等の保障
③文化（遊び）
が必要であり、一人一人の住民とそれらを結びつける仕事こそ「福祉」です。
続いて福祉の様々な役割についてのお話があり、その後一人一人の「暮らし」や「幸せ」について、みんなの意見交換を行いました。最後には各人の願いや要望を付箋にまとめて、最後には各人の願いや要望を付箋にまと

めて提出し、特別講座が終わりました。福祉について学び、要望するというのが今回の経験は、社会参加への第一歩です。これからも地域の課題としっかり向き合っていきたいです。
なお今回は、土佐市社会福祉協議会や高岡県社会福祉協議会からたくさんの方に参加頂きました。日頃私たちの暮らしを様々な形で支えてくださっている方々です。特別講座にご協力いただき、本当にありがとうございました。
以下、みなさんの感想より。
○仕事・手当、家の安定が、しあわせの根拠に関わっているのだと感じました。それに加えて心身の健康や学び・教育の保障、それらの一つ一つが人が生きる上で必要な事。全てに国民に健康で文化的な最低限の生活を保障する憲法25条につながるのだとしみじみ思っています。現在それすら難しい状況にある社会問題が目に見える形で出てきているので、感じました。
○自分にとって暮らしは、「友人・家族がいること」だと思いましたが、「友人・家族がいない」ということだと思えます。村井さんのような人達のおかげで地域の環境が良くなるんだなと感じました。

社会福祉大会・福祉まつり

